

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名	防災基盤の整備	施策No	11-02	部課名	区民生活部防災課	課長名	村松 猛	内線	491
関連部課名									
行政評価 事業体系	分野	安全安心都市[]							
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]							
目的	災害時の延焼防止・地域の防災活動拠点となる防災広場の整備や避難活動・避難生活に向けた対策の推進、災害時のみならず平時の防火対策など、区民の安全・安心に資するため、災害に強いまちを目指して各種防災基盤を整備する。								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)			
	火災による建物の 焼損床面積（㎡）	720	854	723	701	500	目標値：17年度比約4割減		
	地域設置消火器数（本）	4,158	4,244	4,246	4,287	4,500	全設置数		
	防災広場整備数（箇所）	11	12	12	13	17	地域危険度4又は5の地域 計25箇所		
現状と課題 （指標分析）	防災広場整備や備蓄倉庫管理、地域設置型消火器など、今後、荒川区地域防災計画等の修正に合わせ、各種防災基盤の見直しを図る必要がある。								
今後の方向性	[平成19年度] これまで、整備してきた防災基盤の有効活用を図りつつ、新たに必要なものやさらなる充実が必要なものについて、計画的に整備を行う。 また、IPカメラの映像配信のように警察や消防などの防災関係機関との連携強化に資する事業については積極的な展開を図る。								
	[平成20年度以降] ・地域防災計画の修正に伴い見直した事項について、すみやかに整備を図る。 ・警察や消防などの防災関係機関との連携強化に資する事業については積極的な展開を図る。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	地域防災計画の修正に伴い、それぞれの整備計画の見直しを図るとともに、既存の防災基盤の維持管理に努める。

施策分析シート（平成１９年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
防災広場管理	03-06-08	2,807	3,588	C	C	現状の維持管理の水準を確保
備蓄倉庫管理	03-06-09	26,878	26,958	A	A	地域防災計画の見直しと併せ、現実的かつ実態に即した備蓄計画を作成・実施する
地域設置消火器整備	03-06-11	10,899	14,178	B	B	地域の防火力を高めるためにも必要
避難道路標識管理	03-06-12	37	37	C	C	現状の維持管理の水準を確保
防災広場整備費	03-06-14	-	93,679	B	B	災害時の地域活動拠点として、また一時避難場所として整備をする必要がある
小型防火水槽整備	03-06-15	-	-	C	C	現状の事業規模を維持する
I P カメラ管理費	03-06-16	30	29	B	B	災害発生時における情報収集手段の確保のためにも必要
震災対策用トイレ整備費	03-06-17	12,399	24,686	B	B	地域防災計画の見直しに併せ、トイレ計画も見直しを図る必要がある
合 計		53,050	163,155			